

第26回 特別講演会

## 身近な昆虫、カブトムシの謎に迫る

小島 渉 先生（山口大学理学部）

カブトムシはおそらく日本で最も有名な昆虫のひとつでしょう。しかし、驚くべきことに、カブトムシの研究者は世界にたった数人しかいません。そのため、「科学」という目で見ると、カブトムシには解明されていない謎がまだたくさんあります。

夏の雑木林で、腹部が何者かによって食べられたカブトムシの残骸が木の下にいくつも転がっているのを見たことはないでしょうか？これはカラスの仕業だと信じられてきましたが、実際に確かめようとした人はこれまでにいませんでした。私はクヌギの木のそばに自動撮影用のカメラを仕掛けて天敵を調べることにしました。すると、意外な生き物がカブトムシを好んで食べていることが分かりました。また、カブトムシの蛹は、刺激を加えると腹部をくねくねと回転させることが、飼育する人たちのあいだでよく知られています。しかし、蛹がなぜこのような行動を示すのかは分かっていませんでした。詳しく調べてみると、この回転運動には、地中における仲間とのコミュニケーションにおいてとても重要な意味があるということが分かりました。

本講演では、私がどのようにしてカブトムシの謎を明らかにしたのかを紹介するとともに、思い込みを捨てて自然を観察することの面白さについてお伝えしたいと思います。



▲腹部が何者かによって食べられたカブトムシの残骸

- ・開催日時：平成29年8月27日（日）13:00～14:30
- ・場 所：豊田ホテルの里ミュージアム 多目的ホール
- ・受講料：無 料
- ・申し込み：電話・FAX・E-mailにてお申し込みください。  
豊田ホテルの里ミュージアム  
電話：083-767-0350 FAX：083-767-0355  
E-mail：kittsomu@city.shimonoseki.yamaguchi.jp
- ・申込締切：定員になり次第締め切らせていただきます。
- ・定 員：40名